

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アートカウンシル運営			事業番号	008-045
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	文化課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②「堺アートカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	文化施設の利用者数		
		寄与するKPI	有	現状値	1,049,822人(2019年度)	目標値	1,500,000人(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—			
2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画					
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺アートカウンシル				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、市内外の文化芸術等に興味のある方	対象数	4,000	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	文化芸術に関する専門知識を有する人材が領域横断的に支援を行うことで、歴史ある堺の文化を継承し、市民の文化活動の振興を図り、地域文化の創造に努める。また、文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉等の幅広い分野における社会的課題の解決を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○堺アートカウンシルの運営 堺アートカウンシルが文化活動を行う個人や団体など、多様な主体に対して支援を実施する。 ○堺市文化芸術活動応援補助金の交付及び伴走支援 文化芸術の振興や、文化芸術の力を活用して、社会的課題の解決に資するような事業に対して補助金を交付する。また、堺アートカウンシルの専門人材が事業実施に向けたアドバイス等の支援を行う。 ○堺市文化芸術審議会の運営（平成27年度から事業開始） 「自由都市堺文化芸術まちづくり条例」第21条に基づき、「堺市文化芸術推進計画」の目標の達成度、効果等について検証及び評価を行うとともに、計画を推進するための事業を実施する。 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	文化芸術活動を行う個人・団体				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	文化芸術のすそ野の拡大と、文化芸術の力を活用した社会的課題の解決						
	当該目標を設定した理由	第2期堺文化芸術推進計画で、「文化芸術の力を活用した社会的課題の解決」を重点的施策に定めているため。					
	目標に対する実績	—					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	堺市文化芸術活動応援補助金への応募件数	件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	80	85		85
			実績値	82	55		
	達成率	103%	65%				
当該指標を選定した理由	堺市内で文化芸術の振興や社会的課題の解決に資する事業の広がりを評価するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市文化芸術活動応援補助金への応募件数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アートカウンシル運営	事業番号	008-045
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,558	21,097	26,489	21,534	26,571
13 財源内訳					
国支出金		2,508	3,576	2,522	3,658
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 (寄付)		490	1,500	527	1,500
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	1,558	18,099	21,413	18,485	21,413
14 人件費 (b)	1,640	2,460	2,460	17,794	17,577
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,198	23,557	28,949	39,328	44,148

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	堺アートカウンシル運営費	R4 決算	5,130	2,608		R4	決算	
		R5 予算	7,316	3,658		R5	予算	
	堺市文化芸術活動応援補助金	R4 決算	15,912	15,385		R4	決算	
		R5 予算	18,000	16,500		R5	予算	
	堺市文化芸術審議会	R4 決算	492	492		R4	決算	
		R5 予算	1,255	1,255		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
	R4 決算				R4	決算		
	R5 予算				R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 堺市文化芸術活動応援補助金への応募件数	件	82	55
② 上記①にかかる年間経費	千円	20,494	21,042
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	249,927	382,582
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度より堺市文化芸術活動応援補助金をスタートさせ、文化芸術の振興や、文化芸術の力を活用して、社会的課題の解決に資するような事業に対して補助金を交付した。また、堺アートカウンシルの専門人材が事業実施に向けたアドバイス等の支援を行うなど、文化芸術の力を活用して、子育て、教育、福祉等の幅広い分野における社会的課題の解決を図った。

令和3年度と比較し、応募件数が減少した理由として、補助金説明会やアートカウンシル勉強会での制度周知により、令和3年度の申請と比較して「社会的課題の解決に資する」とした補助金の趣旨に合致しない申請が減少したこと、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により事業実施の見通しが立てにくいこと等が考えられる。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 補助金事業については規模が小さい取組や本市所管施設以外での補助金事業の実施も多かったため、KPIへの寄与度は限定的であったが、本市の文化芸術の振興と文化芸術を活用した社会的課題の解決に寄与することができた。また、勉強会、交流会の開催や市内で活動している方々の相談受付等を通して、地域における文化芸術活動の活性化にも寄与した。

堺市文化振興財団との共催で指定管理者の企画担当者向けに社会包摂型ワークショップ実践研修を実施し、各指定管理館における事業の企画力向上を図った。